

平成28年2月3日

栃木県保健環境センター

「脳卒中かな？」と思ったら、「すぐ受診！」

企画情報部

栃木県は、全国に比べ脳血管疾患の年齢調整死亡率^{*1}が高く、現在、女性は全国ワースト2位、男性は全国ワースト4位であり、県では脳卒中の早期受診を推進する「脳卒中啓発プロジェクト」を行っています。

脳卒中には、脳の血管が詰まる「脳梗塞」と脳の血管が破ける「脳出血」「くも膜下出血」があります。脳卒中は、ひとたび発症すれば後遺症として重い障害が残り、いわゆる「寝たきり」の状態になる

ことや、最悪の場合死に至ることもあります。しかし、脳卒中を発症してすぐに脳神経外科のある病院で治療を受ければ、予後^{*2}が大幅に改善する可能性があります。特に脳梗塞における血栓溶解療法（t-PA）治療は、4.5時間以内に治療を開始することにより、脳が受けるダメージを最小限に抑えることができると言われています。

*1 年齢調整死亡率...人口の年齢構成を考慮して補正した死亡率のこと

*2 予後...病気の経過の見通しのこと



脳卒中の初期症状（片方の手足・顔半分の麻痺、半身のしびれ、ろれつが回らない、片目が見えない等）があったときは、すぐに脳神経外科のある病院を受診してほしいま～！

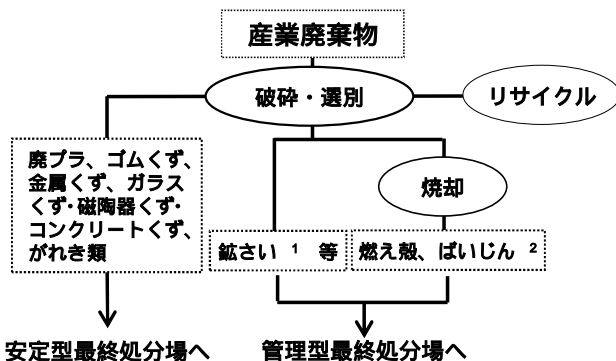
産業廃棄物の行くすえ

化学部

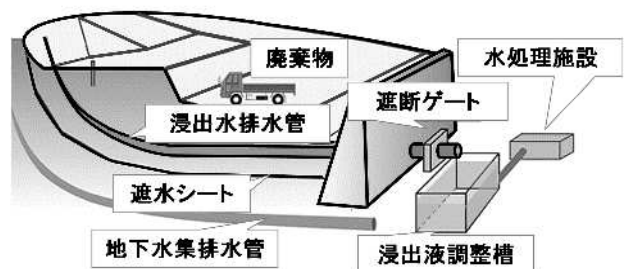
産業廃棄物はどのように処理されているでしょう。分別により利用できるものを回収した後、破碎・選別などを行います。リサイクルできるものはリサイクルし、燃えるものは焼却によって容量を減らします。最後に残った破碎物や燃え殻・ばいじんなどを、種類や性状によって適切な「最終処分場」に埋め立てます（下図）。

「管理型」の最終処分場は、雨などの廃棄物に触れた水を地下に浸透させないよう、底を遮水シートで覆い、底に集まった水を浄化する施設をもちます。

栃木県は産業廃棄物の管理型最終処分場を持たない全国でも数少ない県で、対象の廃棄物は他県で処分されています。現在、県では産業廃棄物の管理型最終処分場の整備を進めており、平成34年度の埋め立て開始を目指しています。



1 鉱さい：金属を精錬する際に除去される不純物等
2 ばいじん：物を焼却する際のすす等



管理型最終処分場の概略図

(環境省：環境影響評価情報支援ネットワークHPより)

ノロウイルスの調査研究が表彰されました

当センター微生物部と県西健康福祉センターの共同研究「食品取扱者におけるノロウイルスの不顕性感染の実態調査」が、平成27年10月22日・23日に東京都で開催された「平成27年度全国食品衛生監視員研修会」において、「厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長賞」として表彰されました。

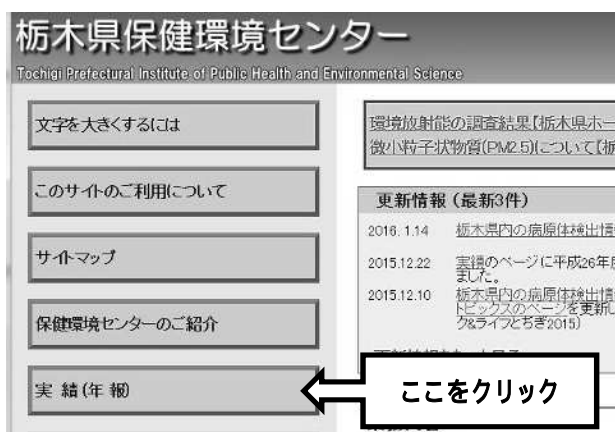


ノロウイルスによる食中毒の予防
十分に手洗いをする。
調理器具を衛生的に保つ。
おう吐物や排泄物を適切に処理する。

平成26年度版 年報発行

当センターの平成26年度の調査研究実績を取りまとめた「年報」を発行しました。

年報は当センターホームページ左側メニューの「実績(年報)」ボタンから御覧いただけます。



知っていますか? 県民実験室



県民実験室では、保健衛生・環境保全に関する実験や体験ができます。感染症の予防に重要な正しい手洗い方法や、日常生活で馴染みのある素材の色素を分離する実験、使用済みの紙からの紙づくりなどなど、そのほかの実験メニューは当センターホームページを御覧ください。



栃木県保健環境センター

検索

??? クイズ ???

脳梗塞における血栓溶解療法(t-PA)治療は、何時間以内に治療を開始することにより、脳が受けるダメージを最小限に抑えることができると言われているのでしょうか?

発行 栃木県保健環境センター
〒329-1196 栃木県宇都宮市下岡本町 2145-13
Tel 028-673-9070 Fax 028-673-9071
E-mail infovo@thec.pref.tochigi.lg.jp
http://www.thec.pref.tochigi.lg.jp

クイズの答え：4. 5時間以内